

食環境科学研究科

研究指導概要

1. 指導内容とスケジュール

1) 各セメスタの指導内容

1 セメスタ

- ・論文題目に合わせ、授業科目の履修指導を受ける。
- ・各セメスタでの自らの到達目標を含めた研究計画を立案し、調査、実験等の研究方法論を修得する。

2 セメスタ

- ・自らの問題意識に基づいて研究関連分野の研究活動の状況等に関する調査を行う。
- ・到達目標を踏まえた達成状況に応じて、研究計画の確認や見直しを行う。
- ・入学から1年を経過した時点で、中間研究発表会を経験することにより、プレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を養う。
- ・必須化となっている海外研修に参加し、海外の食品企業や大学において実地視察をする。

3 セメスタ

- ・確定した研究テーマに基づいて調査、実験を行い、研究方法の妥当性を検証しつつ、研究精度を高め、それらを論文化するための方法論を修得する。
- ・国内外の学会発表、論文投稿等、研究成果の発表を積極的に取り組めるよう指導を受ける。
- ・1・2セメスタでの研究成果を修士学位論文のアウトラインとしてまとめ、修正や追加研究を行う。

4 セメスタ

- ・修士論文アウトラインについて検討し精度を高め、修士学位論文として完成させる。

2) 中間研究発表会の概要と要件等

修士課程の学生は、1年2セメスタ終了時に中間研究発表会において、研究テーマに関連した研究課題や研究方法およびこれまでの研究成果についてプレゼンテーションを行わなければならない。

学年等の如何を問わず報告を聞くことが可能なので、修士課程在籍者は積極的に参加すること。

3) 修士学位論文の作成要領

<内容>

下記項目を記載（但し、項目は原則に準じて自由とする。）

表紙：下記項目を記載（製本見本は「大学院要覧」を参照のこと）。

- ・修了年度
- ・論文題目、副題
- ・研究科、専攻、課程
- ・学籍番号、氏名

内表紙：論文題目・副題、研究科・専攻・氏名

目次：章のタイトルおよびページを記載。

本文：

- ・研究目的
- ・実験方法
- ・結果および考察

総括（まとめ）

参考文献

謝辞

4) 修士研究論文要旨の作成要領

<内容>

- ・研究課題
- ・指導教員名、学籍番号、氏名
- ・研究目的
- ・実験方法
- ・結果および考察
- ・参考文献等

※図表が必要な場合は、所定のページ内に収まるように挿入すること。

●修了および学位授与の要件

本課程に2年以上在籍し、38単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、中間研究発表で適切な評価を受け、食環境科学研究科の目的に応じ「修士学位論文」の審査および最終試験に合格した者に修士の学位を授与する。

●フローチャート（4月入学生）

1 年次 1 セメスタ

4月上旬：入学式、就学手続き、履修ガイダンス

4月上旬～中旬：指導教授の決定⇒履修科目の決定⇒履修登録

5月上旬：修士学位論文題目提出

9月中旬～下旬：成績発表

指導教授を決定し、指導教授と相談の上、論文題目を決定する。論文題目に沿った領域専門科目を選択するとともに、基盤教育科目については1セメスタ3科目程度の履修となるよう指導する。また、修士論文作成に向け、研究手法、スケジュール等を確定する。関連学会等には積極的に参加し、研究上の知見を深め、研究発表の事例を学びつつ、他大学院の学生と意見交換を行う。

1 年次 2 セメスタ

9月下旬：論文題目の確認、履修科目の決定⇒履修登録

2月中旬：修士課程中間発表

3月中旬：成績発表

論文作成に必要な研究を遂行するとともに、必修である中間発表会に向け、プレゼンテーションと討論を重ねその能力を養う。

また、学外での成果発表も積極的に行い、自らの研究テーマに関連した研究分野における先行研究の内容や課題について知見を深めさせると共に、プレゼンテーションのスキルの向上をはかる。また、必須化となっている海外研修に参加し、海外の食品企業や大学において実地視察をする。

2 年次 3 セメスタ

4月上旬：進級手続き、進級オリエンテーション

4月上旬～中旬：履修科目の決定⇒履修登録

5月上旬：修士学位論文題目提出

9月中旬～下旬：成績発表

実験・調査から得られたデータから新規性や有用性を見いだす方法ならびに論文化するための方法論を修得する。1・2セメスタでの研究成果を修士論文アウトラインとしてまとめ、それを更に掘り下げ、修正や追加研究を行う。

2 年次 4 セメスタ

9月下旬：論文題目の確認、履修科目の決定⇒履修登録

1月上旬：修士学位論文・要旨提出⇒主査・副査の決定

1月上旬～2月中旬：主査・副査による修士学位論文審査

2月中旬：修士学位論文発表会、口頭試問

2月下旬：修士学位論文合否判定⇒修士要件充足者発表、成績発表

3月上旬：修了決定者発表

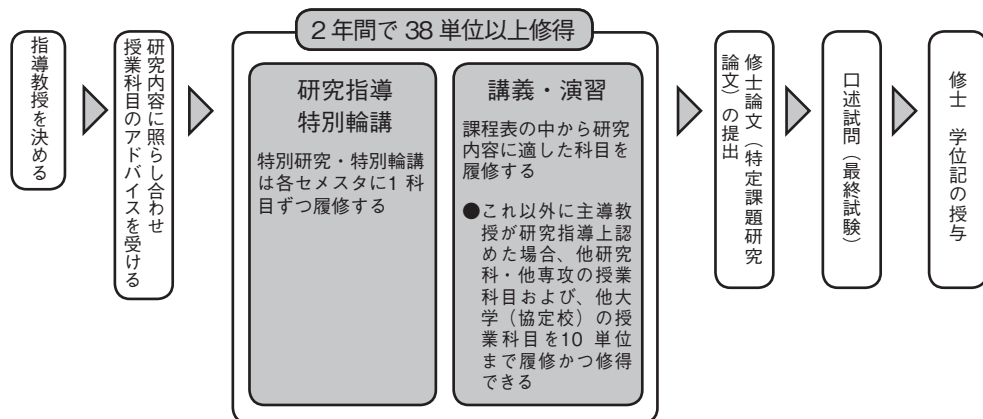
3月下旬：学位記授与式、卒業式

修士論文アウトラインについて検討し、精度を高め修士論文として完成させる。

食環境科学専攻

前期課程

履修の流れ



食環境科学専攻

修士課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	科目ナンバリング	職名	担当教員	備考
実 用 英 語 特 論	講 義 (必修)	2	ENG601	教 授	五十嵐 博 久	
英 語 論 文 ラ イ テ ィ ン グ	講 義 (必修)	2	ENG602	助 教	ウママヘスワリ・ラジゴバラン	
英語スピーチ&プレゼンテーション	講 義 (必修)	2	ENG603	准教授(兼担)	清 水 和 哉	
イノベーション人材育成学	講 義 (必修)	2	CIV601	教 授	宮 西 伸 光	
統 計 解 析 学	講 義 (必修)	2	STS601	非常勤講師	大 庭 志 野	
食 品 成 分 分 析 演 習	講 義 (必修)	2	FOS601	非常勤講師	安 井 明 美	
食 品 衛 生 管 理 学 特 論	講 義 (必修)	2	FOS602	教 授	佐 藤 順	
食品安全・危機管理学特論	講 義 (必修)	2	FOS603	非常勤講師	鬼 武 一 夫	
食品技術者・研究者の倫理	講 義 (必修)	2	SCE601	教 授	大 熊 廣 一	
食 品 科 学 工 学 特 論	講 義	2	FOS604			本年度休講
食 品 流 通 経 済 特 論	講 義	2	ECO601	教 授	野 島 直 人	
応 用 微 生 物 学 特 論	講 義	2	APM601	教 授	福 森 文 康	
食 品 分 析 化 学 特 論	講 義	2	FOS605	教 授	吉 江 由美子	
糖 質 機 能 科 学 特 論	講 義	2	BRC601			本年度休講
食 糧 生 産 科 学 特 論	講 義	2	CPS601	准教授(兼担)	廣 津 直 樹	
先 端 微 生 物 学 特 論	講 義	2	APM602			本年度休講
食 品 酵 素 化 学 特 論	講 義	2	FOS606			本年度休講
アンチエイジング生物学特論	講 義	2	AMC601			本年度休講
分子病態制御学特論	講 義	2	PMC601	教 授	矢 野 友 啓	
最 新 栄 養 学 特 論	講 義	2	HLS601			本年度休講
運 動 生 理 学 特 論	講 義	2	SPS601	講 師	大 上 安 奈	
ス ポ ー ツ 栄 養 学 特 論	講 義	2	AHS601	教 授	西 牟 田 守	
公 衆 衛 生 学 特 論	講 義	2	HPH601			本年度休講
公 衆 栄 養 学 特 論	講 義	2	HLS602			本年度休講
臨 床 栄 養 学 特 論	講 義	2	HLS603	教 授	角 田 伸 代	

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	科目ナンバリング	職名	担当教員	備考
調理科学特論	講義	2	HLS604	准教授	飯島久美子	
給食マネジメント特論	講義	2	HLS605			本年度休講
医科栄養学特論	講義	2	HLS606			本年度休講
栄養教育特論	講義	2	HLS607	准教授	井上広子	
食環境科学研究指導Ⅰ	演習(必修)	2	REG601	}	各指導教員	大熊、近藤、佐藤(加)、佐藤(順)、辻、角田、西牟田、林、福森、宮越、宮西、矢野、吉江、飯島、井上、太田、藤澤
食環境科学研究指導Ⅱ	演習(必修)	2	REG602			
食環境科学研究指導Ⅲ	演習(必修)	2	REG603			
食環境科学研究指導Ⅳ	演習(必修)	2	REG604			

履修方法

1. 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
2. 原則として、「食環境科学研究指導Ⅰ～Ⅳ」の履修は各セメスタに1科目ずつ履修登録しなければならない。
3. 指導教員が研究指導上必要と認めた場合は、本学その他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで履修・単位取得することができる。取得した単位は、修了要件の単位に充当する。

